

Angio-SealTM VIP

Vascular Closure Device

適正使用のポイント

テルモ株式会社



PUSHING BOUNDARIES



Entry Site Managementとは？

出血性合併症低減を目指した 患者さんに合わせて行う穿刺部マネジメント



Entry Site Management

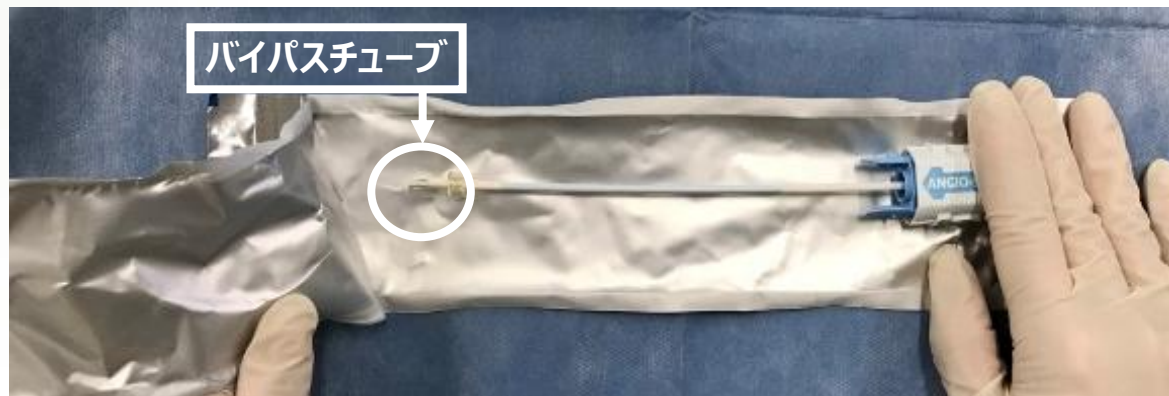
戦略的な穿刺部の選択とケア

治療後の**合併症リスク**や**患者さんの安静時間**、止血に携わる**医療者の負担**まで視野に入れ、
穿刺部位や止血方法の最適な選択を行う考え方です。

ご使用前に_本体部分 開封時のポイント

アルミパウチ包装から本品本体の取り出し

- ◆ 無菌的操作で、
- ◆ 平らな場所にアルミパウチ包装を置き、
- ◆ 本体を取り出す前にアルミパウチ包装が完全に開いていることを確認し、
- ◆ バイパス チューブが脱落・外れることがないように本体を慎重に取り出してください。



もし上記の手順に従ってもバイパスチューブが外れていた場合は、使用をしないでください。

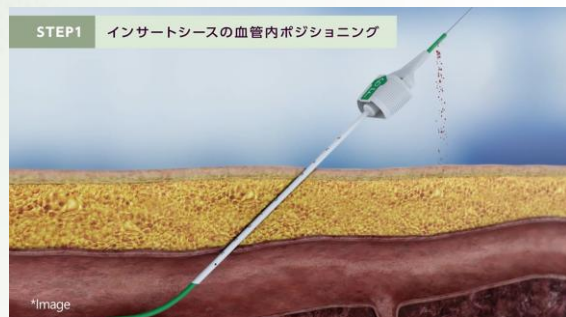
症例中_止血操作時のポイント

ポイント①シースのポジショニング

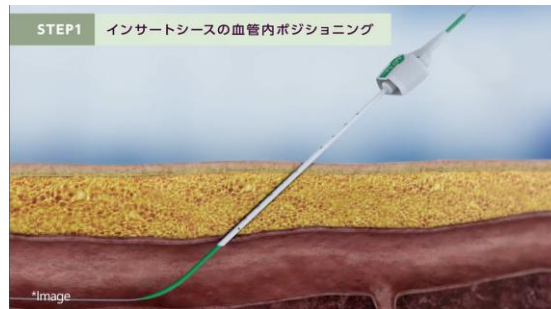
マーカールーメンからの
バックフロー（逆血）
を確認する

バックフローが弱まるか又は
止まる状態までアセンブリを
ゆっくりと手前に引く

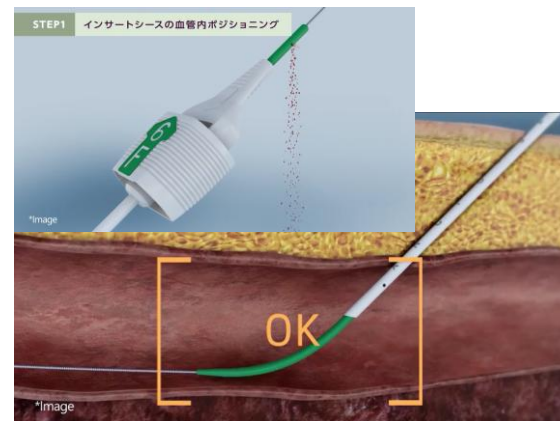
再びバックフローを確認するまで
アセンブリを血管内へ挿入する



インサートシースの遠位部にある
マーカポートが、血管内に入っ
たことを示します。



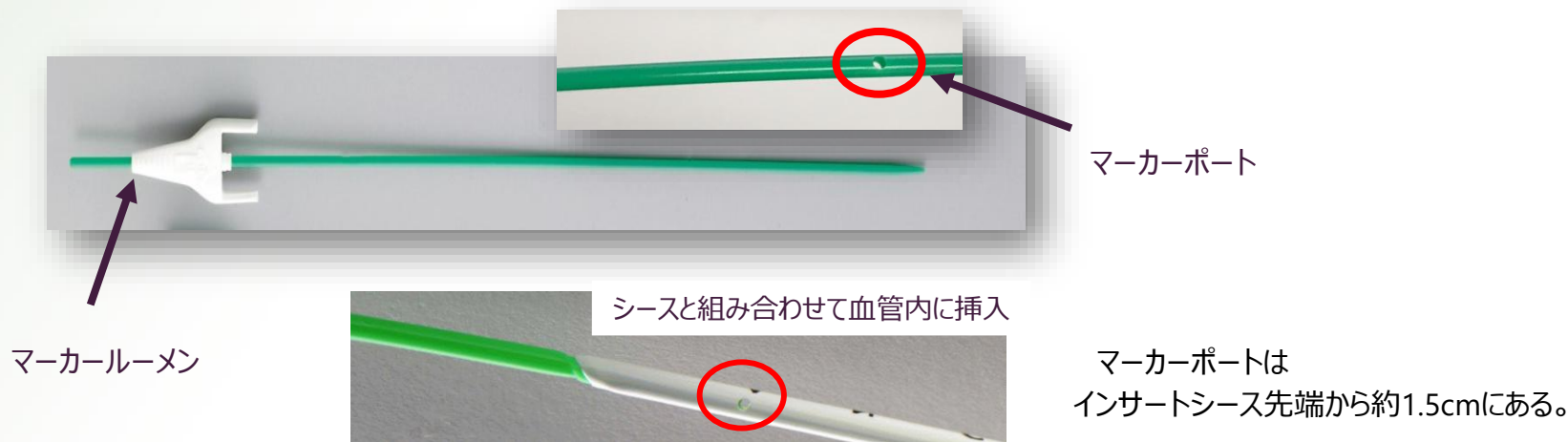
インサートシースの遠位部にある
マーカポートが、血管から出た
ことを示します。



インサートシースの遠位部にある
マーカポートが、再度血管内
に入ったことを示します。

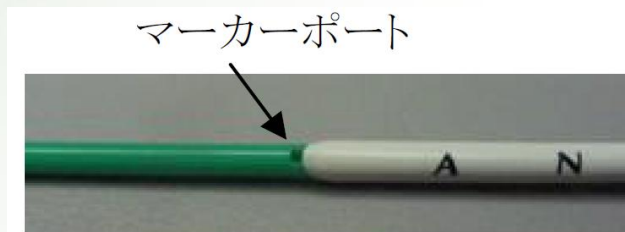
ポイント①補足 インサートシース、ロケータの構造

- ◆ シース及び、ロケータには、先端の方にマーカポートと呼ばれる孔が開いている。
- ◆ ロケータ後端部にはマーカルーメンがあり、バックフローによって、動脈内へのポジショニングが確認できる。



インサートシース、ロケータの構造 旧品との違い

- ◆ Angio-seal VIPでは、マーカーポートの位置が変更。



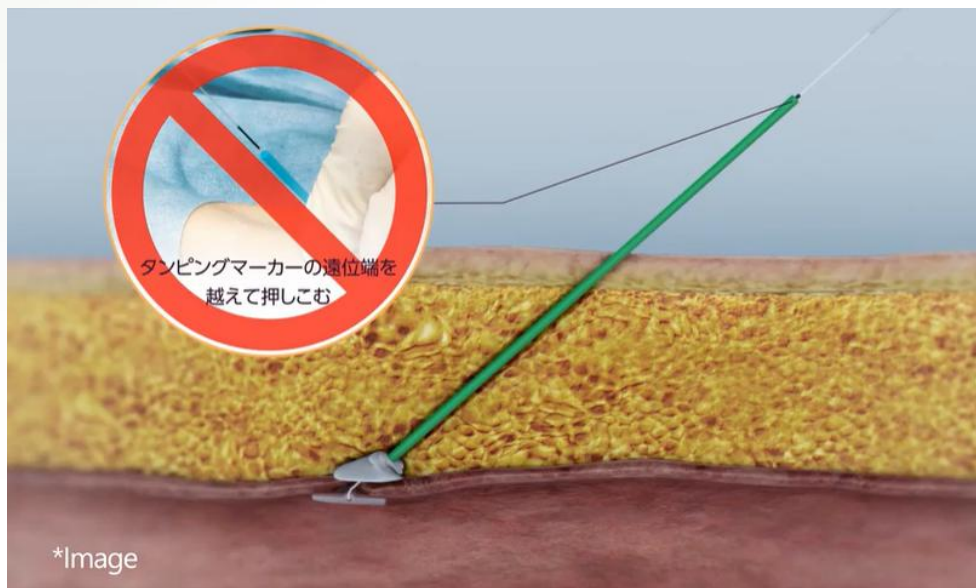
・それ以前の旧タイプ



- ・Angio-seal VIP（現在販売中）
- ・Angio-seal STS Plus（現在販売終了済）

ポイント②止血時のテンション

- ◆ スーチャーが緩まない程度にスーチャーにテンションをかけて常にキープしながら、穿刺角度に沿ってタンパーチューブで優しくコラーゲンスポンジを押し進める。
- ◆ 黒いタンピングマーカが数mm見える位置。



ポイント②補足 スーチャーのコーティング

- ◆ Angio-seal VIPでは、コラーゲンをスムーズに押し進めることを目的に、スーチャー表面にポリグリコール酸 (PGA)コーティングが施されている。

※STS Plusからの変更点



Angio-Seal STS Plus

<https://bcove.video/3PROBIO>



Angio-Seal VIP

<https://bcove.video/3PMF920>

ポイント③ 止血時の操作時間

- ◆ コラーゲンスポンジが体液を十分吸収できるよう 5-10秒保持（Keep）する。
- ◆ この際も、スーチャーのテンションが緩まないように留意する。



「イメージ図」

Thank you

一般的名称：コラーゲン使用吸収性局所止血材

販売名：アンジオシール

承認番号：21900BZY00056000

※本製品の詳細は、電子添文をご参照ください

25CA236

TM-00001799

12 / 12

©テルモ株式会社

2026年3月

PUSHING BOUNDARIES

 **TERUMO**
INTERVENTIONAL
SYSTEMS